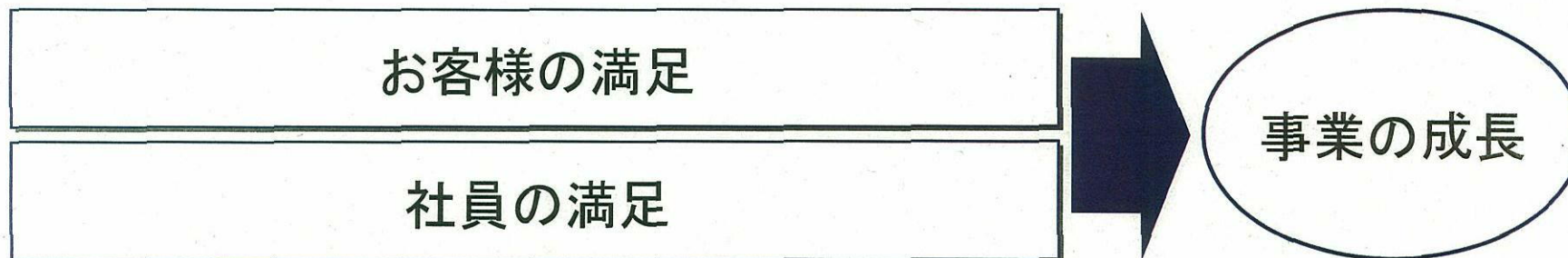
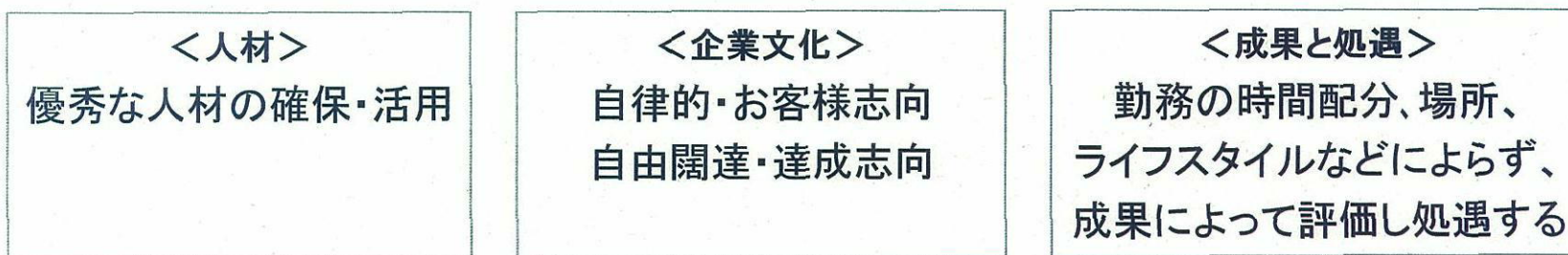


ワーク・フレキシビリティ施策の位置づけ



■ 人事の優先課題



- 多様な勤務形態(ワーク・フレキシビリティ)への取り組み
勤務形態(時間/場所)に柔軟性を持たせることにより、業務の効率化および
優秀な人材の維持・活用を図る